

鹿追町地域公共交通活性化協議会 平成21年3月23日設置



概要

鹿追町は、人口約5,800人の過疎地域であり、通勤や通学、高齢者等の通院等の住民生活に不可欠な公共交通として、4路線の民間路線バスと、路線バス沿線以外の地域は公共交通空白地域となっているため町営のスクールバス、患者輸送バスで維持しているが、然別湖観光への重要な足ともなっている路線バスは、利用者の減少により町の財政負担は増大しており、スクールバス、患者輸送バスにおいても利便性の向上が求められている。このため、路線バスやスクールバス、患者輸送バスの効率的な運行による利用価値の向上と活性化を図り、鹿追市街地区にも存在する公共交通空白地域へのデマンド型交通、コミュニティバスの導入等の調査検討を実施する。

○地域公共交通の現況

- ・北海道拓殖バス(株)(鹿追線、新帯線、然別湖線、瓜幕線)
- ・町営バス(スクールバス、患者輸送バス)

○地域公共交通の課題

- ・路線バスの利用が低迷
- ・スクールバス、患者輸送バスの利便性、効率性の向上
- ・公共交通空白地域から中心地への交通整備

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・市街地内及び市街地以外の公共交通空白地域における、乗合タクシー・コミュニティバスの試験運行
- ・観光客による帯広～然別湖間の路線バス利用促進、同ルート上にある鹿追駐屯地の通勤利用(エコ通勤)促進のための試験運行

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・路線バスの運行体系再編
- ・スクールバス、患者輸送バスの運行体系再編
- ・デマンド型交通、コミュニティバスの導入

